

【第4回ファミサポ講習会】

日 時 令和6年11月18日（月）9：30～11：30

場 所 砥部町中央公民館 4階和室

テーマ 「子どもの安全・事故への対応」

講 師 日本赤十字社愛媛県支部指導員 板坂 昌浩氏

内 容

講話（プレゼンテーション）

- 病気を早く発見するための観察のポイント
 - ・ 機嫌が悪い、食欲がない、眠らないは注意。
 - ・ 急いで病院に行くときの、状態
 - ・ 熱、せき、嘔吐、下痢、けいれん（ひきつけ）脱水症の対応
- 乳幼児の一次救命処置
- 気道異物の除去・・・背部叩打法 腹部突き上げ法

実技（心肺蘇生・AEDを用いた電気ショックの方法・気道異物の除去）

複数体あるモデルを使い、2人1組に分かれ実技を実施。モデルは乳児・幼児があり、それぞれに方法や注意点を学ぶ。

参加者の感想など

- 急病やけがのときあわてて何もできないので、まずは落ち着いて対応できるように心がけたい。
- 実際にモデルで体験してみることによって、いざという時の対応方法を学ぶことができた。冷静に対応できるか不安はあるが、体得したことを思い出し行動したい。
- 北海道の保育園で1歳の幼児が肉を喉に詰まらせ死亡した事故が発生したことを受け、気道異物の除去について質問があり、モデルを使って実際に除去方法を試した。小さい子どもは何でも口に入れるし、食材の大きさや形状によって詰まりやすい物もあるので、予防することが大事である。
- 今年流行したマイコプラズマ肺炎について、朝熱が下がり、夕方になると上がるを繰り返す、体温の出方に特徴がある病気であるとお話があり、熱が下がって安心ではなく、一日の中の体温変化にも気を付けていくなど、幅広い知識を得ることができた。

